

令和 2 年度「学びの変革」
主体的・協働的な学びを取り
入れた授業の学習指導案

「世界と日本の結び付き」

本単元で育成する資質・能力

自ら考え判断する力、粘り強さ、情報収集能力・読解力

- 1 日時 令和2年10月15日 5校時
- 2 場所 体育館
- 3 学級 第2学年3組 33名（男子16名 女子17名）

単元について（単元観）

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年）社会〔地理的分野〕2内容 C日本の様々な地域 （2）日本の地域的特色と地域区分 ④交通・通信 に基づき設定する。

（2）日本の地域的特色と地域区分

次の①から④までの項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

④ 交通・通信

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(エ) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解すること。

(オ) ①から④までの項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解すること。

(カ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) ①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 日本の地域的特色を、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編によれば、この小項目で身に付けた「知識」に関わる事項として、「国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解すること」が挙げられている。

よって、本単元は、様々な交通・通信手段の発達によって、グローバル化が進み、ますます一体化していく世界の状況を、資料をもとに多面的・多角的に考察するのに適している単元であると考ええる。また現在生徒にとって大きな関心事であると考えられる新型コロナウイルス感染症の拡大について、世界の一体化が進む現代だからこそのような急速な感染拡大を招いていることを考えると、生徒一人一人が切実性をもって学ぶことのできる単元であると考ええる。具体的な問いを追究させることで、国内や日本と世界との結び付きの特色として、グローバル化が進行し、緊密に結び付いた相互依存関係が深まっていることを、資料をもとに捉えさせたい。

生徒の実態（生徒観）

本学級の生徒の多くに、授業に積極的に取り組む姿勢がみられる。個別の事実を問う発問や、教科書本文の音読などを中心に、普段から多くの生徒が意欲的に挙手をして発言している。また、教科書や資料集を使って調べる、資料から情報を引き出す等の活動の時間を取ると、わかるところだけでも何かは書こうとする生徒が多い。年間を通して取り組ませている自己評価シートへの記入（毎時間のめあての問いに対するまとめ）も、平均して8割の生徒はB基準（おおむね満足できる）をクリアしている。

その一方で、資料から適切に情報を読み取ったり、社会的事象の因果関係を分析したりすること、学習内容をふまえて自分の考えをまとめたり、それを説明したりする発問に対しては、途端に手が挙げらなくなることがある。高い意欲を生かしながら、基礎的な学習内容を確実に身に付けるとともに、思考の結果を根拠をもって説明・表現させる学習活動を意図的に、継続的に仕組む必要があるといえる。

単元の指導（指導観）

今年度の本校の研究主題「主体的に学ぶ生徒の育成～課題発見・解決学習の実践を通して～」を受けて、次の3点に重点を置いて指導を行う。

○主体的に学べるよう、社会との関わりを意識させ、自分事として捉えさせる

現在の日常生活において最大の関心事の1つであろう新型コロナウイルス感染症の急速な拡大状況を取り上げ、その背景のひとつに交通（・通信）網の整備によるグローバル化があること、またグローバル化が進展する中での感染症対策を考えさせることで、国と国との相互依存関係が深まり、緊密に結び付いているという世界と日本の結び付きの特色を明らかにしたい。グローバル化や地域間の結び付きの強まる状況下での感染症対策について考察させ、その結果を発表させることで、生活経験と学習内容を結び付けて“自分事”として考察し、根拠をもって説明する力を身に付けさせるような授業展開を考えたい。

ただし、本単元の目標は、感染症対策の案を提案させることそのものに置くのではなく、あくまでも提案を手段として、世界と日本の結び付きの特色として、グローバル化が進行し、緊密に結び付いた相互依存関係が深まっていることを、資料をもとに捉えさせる、ことに置くものとする。相互に依存しあっているからこそ、人や物の行き来を断ち切る方策ばかりを続けられないことにも気づかせたい。

○課題発見・解決学習の過程として単元を組織する

パフォーマンス課題を設定し、授業をその課題解決のための過程として組織することで、主体的に学ぶ生徒の育成につなげたい。また情報収集の段階も、「新型コロナウイルス感染症は、なぜ短期間のうちに拡大したのか」など、できるだけ具体的な問いを追究し解決していく活動を中心に授業を構成する。具体的な問いをもって資料にあたることで、資料から必要な情報を適切に読み取る力も育成できると考える。さらに、グループ活動を仕組むことで、集めた情報について因果関係を分析したり、問いに答えられるよう考えをまとめたり、説明できるところまで高めたいと考えている。グループ活動の中で、個人で考えたことを基に意見交換したり議論したりすることで、新たな考えに気が付いたり、自分の考えをより妥当なものに高めていったりすることは、「対話的な学び」の視点からも有意義だと考える。さらに、問いを中心に授業を構成することは、次に述べるように、社会的見方・考え方を働かせる授業構成にもつながる。

○社会的見方・考え方を働かせる

本単元は地理的分野であり、「社会的事象の地理的な見方・考え方」を働かせることが授業の中心となる。平成 29 年告示の学習指導要領解説によると、社会的事象の地理的な見方・考え方については、「『社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること』とし、考察・構想する際の『視点や方法（考え方）』」¹として整理されている。また、「これらの視点は、上述のように社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせた具体的な授業の中で、主要な問いとしても用いられるものである。」²とあるように、視点を生かした「問い」を追究していく過程として授業を組織することで、社会的見方・考え方を働かせた授業が可能となると考える。

本単元においては、新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大状況に着目し、「新型コロナウイルス感染症は、なぜ短期間のうちに拡大したのか」「日本国内はどのように結び付いているのか」など、問いを追究する活動を授業の中心とすることで、社会的見方・考え方を働かせ、その結果として、グローバル化による世界各地の結び付きの強まりがあることに気付かせたい。

単元の見方・考え方

世界と日本の結び付きの特色として、グローバル化が進行し、緊密に結び付いた相互依存関係が深まっていることを、資料をもとに捉えさせる。

○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した物流や人の往来の特色について概観し、それぞれの基礎的な知識を身につけさせるとともに、統計資料の分析、主題図・写真の読み取りや比較、関連づけなどの地理的技能を向上させる。【知識及び技能】

○国内や日本と世界との結び付きについて追究していく過程において、その地域的特色や課題について多面的・多角的に考察させるとともに、成果を文章で表現させる。【思考力、判断力、表現力等】

○国内や日本と世界との結び付きについて、学習テーマを設定し、主体的に追究させる。【学びに向かう力、人間性等】

¹ 文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編』平成 30 年，p. 29。

² 同上，p. 34。

単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等	ウ 学びに向かう力、人間性等
①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した物流や人の往来の特色について概観し，基礎的な知識を身に付けている。 ②国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色について，収集した資料から適切な情報を選択して意味を見い出したり，自分なりにまとめたりしている。	①国内や日本と世界の結び付きについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ②グローバル化の進展によって生じた課題について，その解決に向けて，根拠を示して選択・判断している。	①国内や日本と世界との結び付きについて関心を持ち，設定したテーマについて主体的に追究している。

育成しようとする資質・能力の本単元とのかかわり

	〈自己管理能力・見通しをもつ力・計画性〉
	〈自ら考え判断する力〉 ①資料をもとに，思考し，自分の考えをまとめて表現することができる。
	〈高い志〉
	〈協調性・適応性・コミュニケーション能力〉
	〈粘り強さ〉 ②問いに対する答えを粘り強く追求し，自分の考えをまとめて表現することができる。
	〈情報収集能力・読解力〉 ③資料から適切に情報を読み取り，必要な情報を取捨選択できる。

指導と評価の計画

(全3時間)

次	学習内容 (時数)	評価				
		知 技	思 判 表	学 人	評価規準 (評価方法)	資質・能力 の評価 (評価方法)
一	課題の設定 ○グローバル化が進む世界 ～パンデミックの背景としてのグロ ーバル化～ ・新型コロナウイルス感染症の拡大 状況を確認する。 ・急速に拡大する感染症に対して、 どのような対策をとるべきかを問 い、課題を設定する。			○	ウ① (プリント, 観察)	
	総理大臣から依頼を受けた「熊野総合研究 所」として、新型コロナウイルス感染症の世 界的な拡大に対して、国としてどのような対 策をとるべきか、対策パッケージにまとめ、 提案しよう。					
	情報の収集1 【新型コロナウイルス感染症は、な ぜ短期間のうちに拡大したのか】 ・グループごとに視点を割り当て、 資料に基づいて問いに対する考え をまとめ、発表させる。 本時1 / 1 (1)	○			ア①② (プリント, 定期試験)	①自ら考え判断する 力 (プリント, 観 察) ③情報収集能力・読 解力 (プリント, 観察)
二	情報の収集2 ○日本各地を結ぶ交通・通信～結び付 きを強める地域～ 【日本国内は、どのように結び付いて いるか】 ・資料に基づいて、日本国内各地も結 び付きを強め、人の往来が多くなっ ていることを確認する。 (1)	○	○		ア① (プリント, 定 期試験) イ① (プリント, 定 期試験, 観察)	③情報収集能力・読 解力 (プリント, 観察)
三	整理・分析 まとめ・創造・表現 実 行 振り返り ○こちら熊中総合研究所～対策パッ ケージの提案～ ・グループごとに、資料を根拠に、と るべき対策をまとめ、提案させる。 ・学習の振り返りを行う。 (1)		○	○	イ② (プリント, 観 察) ウ① (プリント, 観 察, 自己評価)	①自ら考え判断する 力 (プリント) ②粘り強さ (プリン ト, 観察)

本時の学習

(1) 本時の目標

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大の背景にグローバル化があることを理解し、日本と世界が緊密に結び付いていることを、資料を基に捉えさせる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て (◆)	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1 導入 (10分)			
○今日から「世界と日本の結び付き」という単元の学習に入ることを確認し、世界と日本の結び付きと聞いて、思い浮かぶことを挙げさせる。 ○中国・武漢で最初の患者が確認されてから、約10か月の間に、感染が急拡大している状況を確認する。 ○急速に拡大する感染症に対して、どのような対策をとるべきかを問い、課題を設定する。	◇まずは自由に発言させる。 出にくいようであれば、誘導的な発問をし、新型コロナウイルス感染症も中国から伝わってきたことを確認する。 ◆パワーポイントの画面を見せながら、着目すべき点を口頭で伝える。 ◇対策を考える際の条件として「世界と日本の結び付き」に関わることを、資料に基づいて考えることを提示する。		
課題 ここは「熊野総合研究所」。各分野の専門家を集めた高度な研究機関です。総理大臣から依頼を受け、新型コロナウイルス感染症の拡大に対して、国としてどのような対策をとるべきか、対策パッケージにまとめ、提案しよう！			
2 展開1 (27分)			
○まずは情報を集めることを確認し、「新型コロナウイルス感染症は、なぜ短期間のうちに拡大したのか」と問う。 ○本時のめあてを確認する。			
本時のめあて 資料に基づき、「新型コロナウイルス感染症は、なぜ短期間のうちに拡大したのか」を説明できる。			
【予想される生徒の反応】 ・感染力の強いウイルスなのは？ ・人の行き来が激しいからでは？			

○資料を基に、グループごとに新型コロナウイルス感染症が急拡大した理由について考察する。 ※グループごとに担当する資料：航空網、輸送貨物・貿易、人の往来 ○ホワイトボードにまとめ、資料も用いて発表する。	◇ 資料と発表用紙を配付し、発表方法のフォーマットを示す。 【少人数グループの活用】 4人班を活用する。役割分担を確認する。 【言語活動の充実】 資料に基づいて説明する。	ア①(プリント、観察) ウ①(プリント、観察)	③情報収集能力・読解力(プリント、観察)
3 展開2 (10分)			
○各グループの発表をもとに、新型コロナウイルス感染症が急拡大した理由を考察し、文章で表現する。	◇めあての問いに対する答えを、学習内容をふまえ、プリントに書かせる。 【言語活動の充実】資料を根拠に、考えを文章で表現する。	ア②(プリント、観察)	①自ら考え判断する力(プリント、観察)
【「概ね満足できる」状況(B)と判断する根拠】 新型コロナウイルス感染症の急拡大の背景にグローバル化の進展があることを、資料からの情報を踏まえ、説明している。 〈記述の例〉グローバル化の進展により、世界の主な都市が航空路によって結ばれ、ビジネスや旅行目的での人の往来が多くあるから。			
【「十分満足できる」状況(A)と判断する根拠】 新型コロナウイルス感染症の急拡大の背景にグローバル化の進展による相互依存関係の深まりがあることを、資料からの情報を踏まえ、説明している。 〈記述の例〉グローバル化の進展により、貿易やビジネス・旅行目的での人の往来など、世界各国の結び付きが強まり、世界の一体化が進んでいるため。			
【「配慮を要する」状況(C)と判断される生徒への手立て】 具体的に細かく問い、考えを整理させる。考えの整理に活用できそうな資料を提示し、着目点を指示する。			
○グループ内で考えを交流する。			
4 まとめ (3分)			
○本時の学習のまとめをする。	◇ねらいに対して本時の授業で学習したことをふまえて、自己評価シートに記入する。		
(予想する生徒のまとめ) 資料や他グループの発表を参考にしながら、説明を自分で考えることができた。			
○次時の学習内容の確認をする。			

※使用資料集 明治図書『最新地理資料集』

※主要参考文献・Web ページ等

- ・文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編』平成 30 年。
- ・文部科学省（HPより）「新しい学習指導要領の考え方ー中央教育審議会における議論から改訂そして実施へー」
- ・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第 197 号）別添 3－5
- ・原田智仁『中学校新学習指導要領 社会の授業づくり』明治図書，2018 年。

(研究授業の様子)





